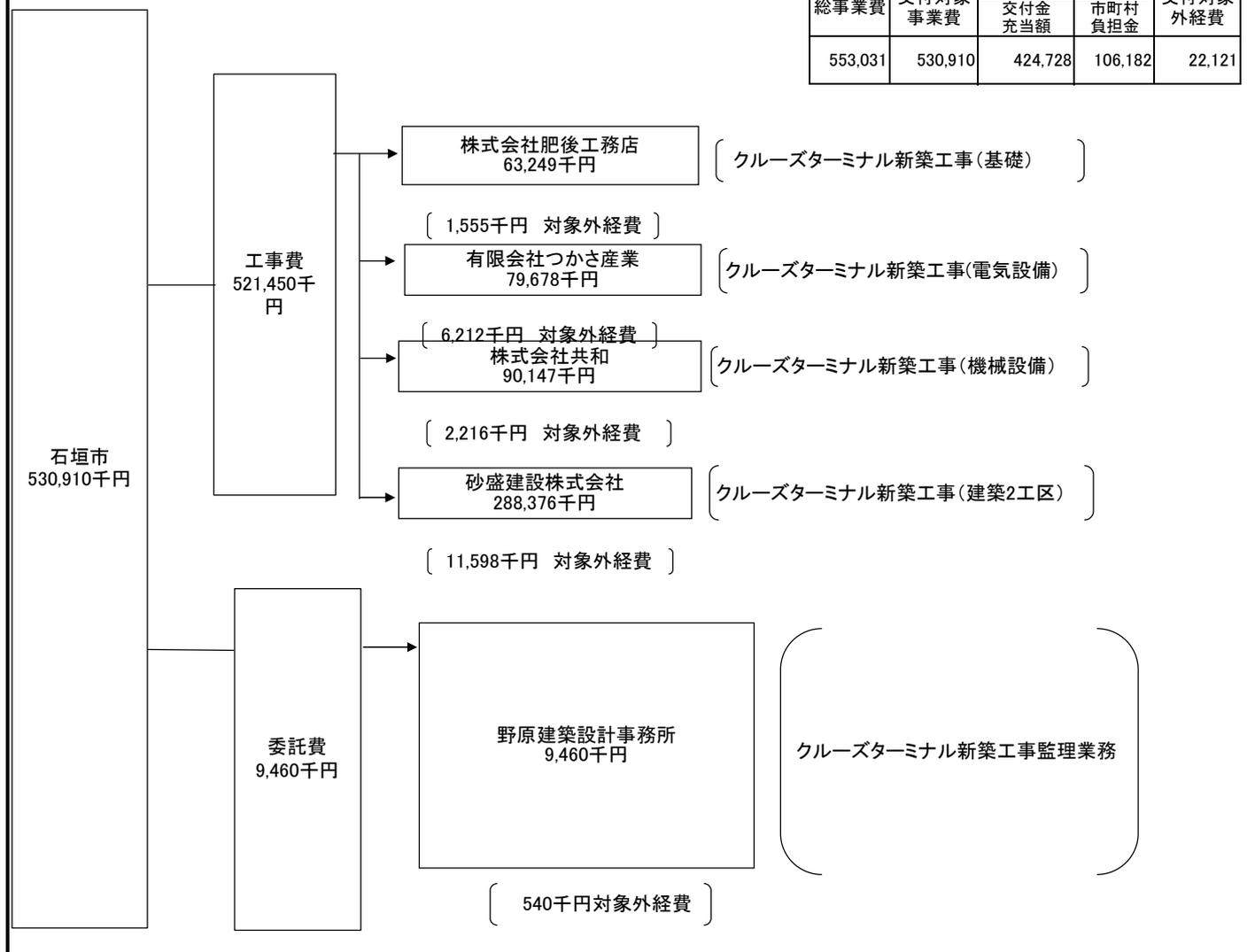


市町村名	石垣市						
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	クルーズターミナル整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア			
担当部署名	建設部 港湾課	事業実施(予定)年度	令和4年度~令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備		
事業内容	クルーズ船の寄港増加を図るため、出入国に関する手続きに必要なクルーズターミナルの整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度	R5年度(繰越)				
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		581,085	-			
			581,085	0			
			0	-			
			0	426,018			
			581,085	426,018			
		B. 執行済額	155,067	385,391			
		うち交付金充当額	124,053	300,675			
		次年度繰越額	426,018	0			
		執行率(%) (B/A)	26.7%	90.5%			
	予算の状況の説明	(繰越) 資材の物価高騰により事業費が想定を超える規模となったため、事業計画を見直す必要が生じ調整に7カ月の時間を要したため、年度内の完了が困難となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
			R5年度				
	・クルーズターミナル整備工事(2工区)の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	達成状況説明	建築2工区、電気設備工事、機械設備工事を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R6年度)	
	・クルーズターミナル整備工事(2工区)の完了	目標	(完了)	()	()	()	()
		実績	完了				
	・クルーズ船の年間寄港回数 343回以上/年	目標	()	()	()	(343回)	()
		実績					
		進捗状況説明	・クルーズターミナル整備工事(2工区)については、年度内完了が困難となった為、R6年度へ繰越し完了した。 ・令和6年に発注した建築3工区及び令和7年度に発注する外構設計、設備・外構工事の完成をもって事業を完了する。(完了予定R8年2月)				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	実施設計業務の見直し等により不測の時間を要してしまい、工事発注が遅れてスケジュールに余裕をもつ事が出来なかった。	設計業務からスケジュール管理を徹底し、工事発注計画に余裕を持つように努める。
今後の取り組み方針		
令和7年度中に全ての工事を完了させ、令和8年2月頃からの供用開始に向け必要な手続き等を行う。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
553,031	530,910	424,728	106,182	22,121



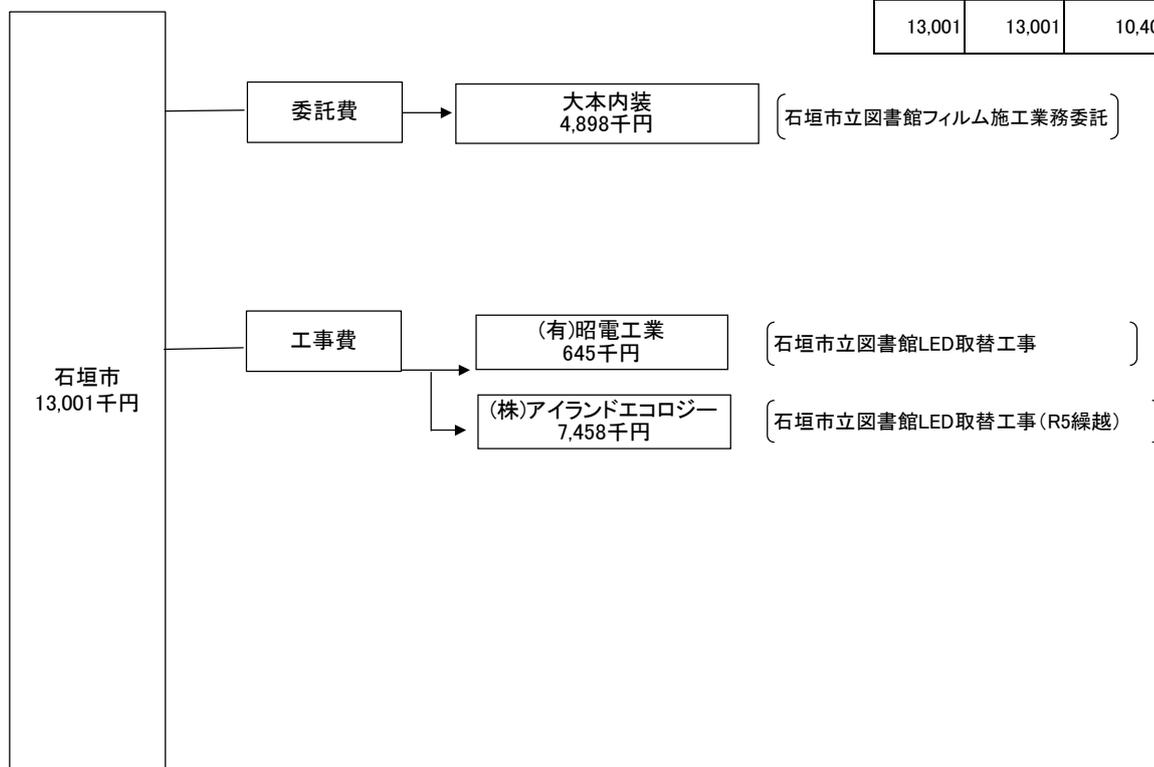
資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市						
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑬ 石垣市省エネ推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所					
担当部署名	図書館	事業実施(予定)年度 令和5年度～令和6年度					
		沖繩振興基本方針該当箇所					
事業内容	市内施設の省電力化を推進し、環境負荷の軽減および低炭素島しょ社会の構築を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R6年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度(繰越)	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A. 計(b+d)					13,704	
						13,704	
						0	
						-	8,161
						13,704	8,161
	B. 執行済額					5,543	7,458
	うち交付金充当額					4,434	5,967
	次年度繰越額					8,161	0
	執行率(%) (B/A)					40.4%	91.4%
予算の状況の説明		(繰越) 物価高騰の影響により高天井用LEDダウンライトの納期に遅延が生じたため、年度内完了が困難となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
		R5年度					
	・石垣市立図書館照明のLED化 43か所	目標 (実施) () () ()					
	実績 実施						
・石垣市立図書館内の窓ガラスへの断熱・UVカットフィルム施工 144枚	目標 (実施) () () ()						
実績 実施							
達成状況説明	・石垣市立図書館フィルム施工業務委託 令和6年3月完了 (R5年度) ・石垣市立図書館LED取替工事 令和6年11月完了 (繰越)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	R5年度	目標値(R6年度)				
	・館内照明のLED化	目標	43か所	() () () ()			
		実績	40か所				
	・窓ガラスへの断熱・UVカットフィルム施工	目標	144枚	() () () ()			
		実績	144枚				
	・LED照明導入後の館内使用電気量年間削減率	目標	() (13%) () () ()				
		実績					
	・クーラーフル稼働月の使用電力量削減率	目標	() (44%) () () ()				
実績							
進捗状況説明	・設計等により精査したところ、当初LED化を予定していた43か所から40か所へ変更となった。 ・LED照明はR5年度中に7か所、R6年度中に33か所の取替工事を行った。 ・対象となる144枚のガラスにUVカットフィルムを貼付した。 ・電気量の削減率については、当初令和6年度に目標値を設定していた。新機器による運転を1年間実施することにより、旧機器と比較して削減量を数値化するものであり、R6に事業繰越したことによりR6年度中での検証は困難となったため、R7年度に改めて検証することとする。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 石垣市立図書館において、継続した節電対策を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の改修時における再生可能エネルギーの積極的導入を図る。 館内における空調機の効果的な運転を行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 当事業は、R7年度において成果目標を検証することから、石垣市立図書館においては、閉架書庫など利用頻度が低い箇所をこまめに消灯するなど、照明の点灯時間の削減に努めていく。 今後も、第2期石垣市エコアイランド構想や第4次石垣市地球温暖化対策実行計画に基づき、継続してCO2削減を推進していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
13,001	13,001	10,401	2,600	0



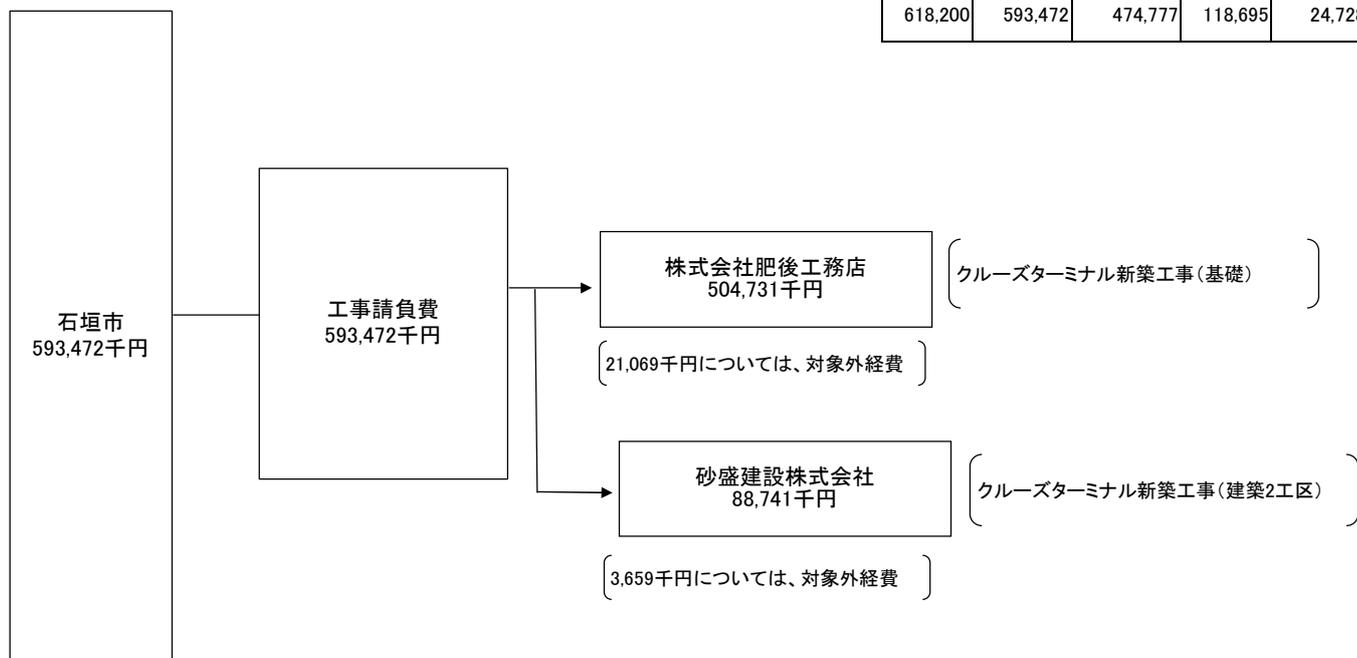
資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市					
令和4年度(事故繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-②	クルーズターミナル整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア		
担当部署名	建設部 港湾課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備	
事業内容	クルーズ船の寄港増加を図るため、出入国に関する手続きに必要なクルーズターミナルの整備を行う。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R6年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R4年度(繰越)	R4年度(事故繰越)		
	予算の状況	(a)当初予算額	598,046	-	-	
		(b)予算現額	598,046	-	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	-	
		(d)繰越額	0	598,046	362,636	
		A.計(b+d)	598,046	598,046	362,636	
		B.執行済額	0	235,410	358,061	
		うち交付金充当額	0	188,328	286,449	
		次年度繰越額	598,046	362,636	-	
		執行率(%) (B/A)	0.0%	39.4%	98.7%	
予算の状況の説明	(繰越) 資材の物価高騰により事業費が想定を超える規模となったため、事業計画を見直す必要が生じ調整に7カ月の時間を要したため、年度内の完了が困難となった。 (事故繰越) 能登半島地震の影響により資材調達等が困難となったため。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
		R4年度				
	・クルーズターミナル整備工事(1工区)の実施	目標 ()	()	()	()	
達成状況説明	令和4年度の事故繰越事業については、令和7年2月末で工事及び業務が完了した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	R4年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R6年度)
	・クルーズターミナル整備工事(1工区)の完了	目標 (完了)	()	()	()	()
		実績	完了			
	・クルーズ船の年間寄港回数	目標 ()	()	()	()	(343回)
		実績				
進捗状況説明	・事故繰越を行った、クルーズターミナル整備工事については、令和7年2月末に完了した。 ・令和6年に発注した建築3工区及び令和7年度に発注する外構設計、設備・外構工事の完成をもって事業を完了する。(完了予定R8年2月)					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	実施設計業務の見直し等により不測の時間を要してしまい、工事発注が遅れてスケジュールに余裕をもつ事が出来なかった。	設計業務からスケジュール管理を徹底し、工事発注計画に余裕を持つように努める。
今後の取り組み方針		
令和7年度中に全ての工事を完了させ、令和8年2月頃からの供用開始に向け必要な手続き等を行う。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
618,200	593,472	474,777	118,695	24,728



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	